



The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

4

2019
April

4月10日発行
第9巻 第10号 通巻101号

Bulletin

CHARTERED 2010



◆今月の聖句 新約聖書 マタイによる福音書 5章7節
憐れみ深い人々は、幸いである、その人たちは憐れみを受ける

主
題

クラブ会長 《佐古田正美(京都ZERO)》： 「クラブ愛をみんなで育てよう」

国際会長 《Moon Sang-Bong(韓国)》： The We Can Change 「私たちは変えられる」

アジアエリア会長 《田中博之(日本)》： Action! 「前へ進もう」

西日本区理事 《遠藤通寛(大阪泉北)》： Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the future
「未来に残すべきものを守り育てる」

京都部部長 《川上孝司(京都パレス)》： Will the Circle Be Unbroken 「永遠の絆」



EMC委員長をつとめて

西村 寛子

今期、佐古田会長より何とか5名の増員をと仰せつかった。クラブとしても10周年を迎える次年度までに30名は何とか確保したいところ。会長意向を実現するべく取り組んできた。歴代のEMC委員長も色々な努力を続けてこられたが、今期はEMC100人例会を企画しメンバーの方々に新メンバー獲得の意識を持って多くの友人知人に声掛けをお願いした。おかげで120名もの参加を得て、結果新入会員獲得につなげることができた。感謝である。

新メンバーには、やはりクラブの活動を十分に理解していただき、入会後はクラブの活動に積極的に関わって頂いてこそそのメンバーだと考え、入会前のオリエンテーションの充実と、入会後のフォローをしっかりと行うという点に留意してきた。先に述べたように、オリエンテーションでお話をしたとはいえ、やはり入会後にどれだけ活動に参加し、実践的にクラブについて理解していただけるかが大切で、その点スポンサーの方の役割が大きいと考える。馴染みの薄いメンバーだけのミーティングやアクトには新人は参加しにくいと思う。やはりスポンサーがしっかりとフォローすることが大切だと思うのだが、そのためには現在のメンバーこそがしっかりとクラブの活動に積極的に参加することが大事だと思う。

クラブの活動の充実があつて、初めて新会員の獲得につながるのもであつて、人を入れればよいというものではない。現在のメンバーも皆さん多忙ではあると思うが、年間予定や、書記から配信される直近の予定などを確認し、活動予定をスケジュールリングして活動に参加する努力があつてこそ、より良いクラブの活動が生まれると考える。充実したクラブでの自身の活動があれば、人を自然にお誘いできると思う。

前期後半から今期にかけて7名もの新入会員を迎えることが出来たことは本当に嬉しい事であり、その中でも新入会員が新たにスポンサーになって新入会員を招いて下さったことは何より嬉しい事だ。こうしたウエーブが続けば、10周年記念例会は40名の会員で迎えたいとの次期会長の夢も夢ではなくなるのではと思える。

メンバーの皆さん、充実したクラブライフが送れるよう、互いにフォローしながらワイズを楽しみましょう。ゼロクラブの活動が、誰かが何とかしてくれるアクトではなく、参加して楽しむアクトになるようにみんなでしていけたらいいなと思う今日の頃である。



3月14日に行われましたオークション例会は皆様ありがとうございました。
ファンド委員会企画で 私、岸田が司会させていただき、緊張と興奮の渦巻く中、否探り合いな感じ満載で非常に楽しく盛り上がったと思います。
この日は時間を有効に使えるように食事開始すぐにマイクを握らせていただきすぐにオークション開始。テンポ良く進めるつもりでしたが例会終了時間ギリギリまでひたすらオークションでした。
盛り上がってくると一瞬で時間が過ぎてしまいますね。ドローンや阪神のプレミアムチケット、貴金属まである豪華なオークションでした。

皆様のご協力でファンド益も10万円を超えました。
厚く御礼申し上げます！

その日は長浜クラブからも2名ゲストで来られオークションにも参加していただきました。

近々DBCを結ぼうかとしているクラブですので徐々に仲良くなっていく現在の現状がいい雰囲気だと思います。

まだまだファンド資金も必要ですし今期も後半に差し掛かっておりますが、頑張って企画や販売していきたいと思ひます。

今後ともご協力のほどよろしくお願い致します！

岸田 靖司



前期より、DBC締結に向けて双方の例会に参加、またワークなどを通じて交流を重ねて参りました。そして今回、合同例会を開催する事が出来ました。ZEROクラブからは10名参加し、メインプログラムは双方のメンバーの自己紹介でした。交流を通じて何度も会っているけど仕事の事など案外知らないものです。改めてお互いを知るいい機会になったと思います。そして、なにより嬉しかったのは・・・DBC締結に向けて双方の意思確認が出来た事です！“西日本区大会でDBCの締結式をしよう！”両会長の握手とハグを持って、いよいよ本格的に始動です。条件としては、締結式までに双方の例会に一回ずつ参加する必要があります。この機会に各メンバーでまだ長浜クラブの事を知らない方もたくさんおられるので、交流委員長としても積極的にメンバーへ広報していきたいと思います。やっと念願が叶う時が来たー！って感じです。ありがとうございました。

国際交流委員長 堂脇 武



Yサ委員長としてリーダー卒業祝会へ宮越さんと出席しました。普段リーダーの方達と接する機会のない私の初めての公の場での参加です。

川上京都部部長始め各クラブ会長と一緒に10人のリーダーの卒業を祝い最後に各リーダーが御礼の言葉を話すのですが、そこで驚きがありました。皆さんはリーダー達がYMCAとどの程度の関わり度でボランティアに参加されているとイメージされていますか？

本業は学生さんなので勉強が第一、その合間の余力の時間でボランティアをされるというのが普通ですよ？！だが、彼、彼女たちの口から出て来た言葉は感謝以外は殆どの人が、しんどい、苦しかった、挫折しかけた、という言葉ばかりだったんです。

それだけYMCAとの関わりを大きく持ち、過酷なスケジュールをこなされて来たんだという事を聞かされました。でもそれに耐え切り涙して後輩達に後を委ねていかれる姿に、只々感動のみでした。

自分の知らないところで、こんな若い子達が自分の遊ぶ時間を犠牲にしてまで頑張っている姿を知る事が出来ただけでも、今日の参加は一年間のクラブ参加の中で一番心に残る日でした。参加できた事に感謝致します。

次にリーダーさん達と会える日があれば確実に、リーダーさんに対する自分のスタンスが変わっている事は間違い無いです。

加藤 滋一

カイククラブとの IBC 活動報告 3月8日(金曜日)～9日(土曜日)

ウルポ・ヘイアウ古代遺跡清掃・開墾ワークに参加して

3月9日(土)のウルポ・ヘイアウ古代遺跡清掃・開墾ワークに竹園ワイズ、西村ワイズ夫妻、愛娘二人とともに参加してきました。ワーク当日の前後はワイズ関係行事が立て込んでいて、やむなく現地2泊、機中2泊の弾丸訪問。



ハワイ到着日の夕方にさっそくカイククラブの Raymond Seto ワイズやシャロン石田ワイズら主催のウェルカム・ディナーに招待されました。両名は4年前のIBC締結に際して大変な尽力をしてくださりました中川雅世ワイズとともに、カイククラブのキーパーソンです。当日、私たちより早い便で到着していた竹園、西村博ワイズは、その日の朝から Seto ワイズらと1ラウンド回っていたというタフさ！予報ではワーク当日は朝から大雨(ただし西村博ワイズ談)、とされていましたが、日頃の行いの素晴らしい皆さんのお陰(ほんまか)で、素晴らしい快晴に恵まれましたwww。

ワークの内容は、タロイモの水田のいたるところに生えている雑草刈りと、新しいタロイモ水田を開墾

するための雑木林の伐採と、水田の堆肥になる葉っぱの刈り取りと散布。その一つ一つを一切の機械や道具を使わずに、完全な手作業で進めていきます。なにかすべて一つ一つの作業が神聖な儀式のようでありました。(機械つこたら一発やのに・・・と陰の声あり)

ここで前述したヘイアウについて説明します。

ヘイアウ(Heiau)とはハワイ中に散らばって現存する古代遺跡の総称で、19世紀にキリスト教がハワイ全土に布教されるまで、ほとんどのハワイ人(多くは渡来したポリネシア人)の間に深く根付いた、自然神(闘いの神、農耕の神、海の神など)を信仰するためのメッカ(聖地)でありました。一時はキリスト教徒による弾圧で、そのほとんどが破壊ないしは放置されていましたが、近代になって政府主導によりその保護と修繕が進められています。今回訪問したウルポ・ヘイアウ(Ulupo Heiau)はおそらく農耕の神を祀るための施設で、いたるところにタロイモの水田(陸田も多少あった)が大切に育てられていました。タロイモは古代より魚介類とともにハワイ人の主食であり、代表的な食べ方はタロイモの根や茎を摺り下ろしてドロドロにしてそのまま食べます。今回、ワーク後のランチに美味しく頂きました。毎年10～11月からの「マカヒキ」と言われるシーズンには、このタロイモを収穫の神「ロノ」に捧げる儀式が執り行われるとのことでした。

ここまで書いて、私はちょっとびっくりさせられました。われわれがCS事業として継続して行っている、山科九条山の日向大神宮の清掃ワークと考え方や儀式の行い方がそっくりではありませんか！

神社はわれわれ日本人にとっての八百万の神が祀られた神聖な場所であり、農耕そのものの文化や、コメとタロイモの違いはあっても、その収穫を神に捧げることは、われわれの^{にいなめさい}新嘗祭や^{かんなめさい}神嘗祭と考え方がほぼ同じ。

ふだんはすっかりスーパーでの買い物や外食に頼り切りになってしまった私たちにとって、今回のヘイアウ・ワークはなかなか深く考えさせられるものがありました。

佐古田 正美

強調月間

YMCA サービス A S F

メンバー1人ひとりがYMCAの新しいブランドコンセプトを理解し、YMCAサービス・ユース事業に積極参加すれば、あなたのクラブも「よくなっていく」ことでしょう。

人見晃弘 YYサ・ユース事業主任(大阪泉北クラブ)

皆さんこんにちは！ゼロの自称盛り上げ役の坂口です。私事ではありますが、実は先日事務所を移転させて頂きました。今年で独立してから5年です。開業した頃は「思い通りにいかない」事があった時。まだまだ未熟者だから仕方ない。開業したてだから仕方ないそう思っていました。でも今「思い通りにいかない」事があった時。苛立ちにかかわる事が多々あります。実は会社名の「HIGH TRUST」はロックバンドの「Hi-STANDARD」からインスピレーションを受けて付けた社名です。と言っても実はHi-STANDARDの事は全然知りません。開業前、どうしよう不安の日々に悩んでいた夜にTV番組でHi-STANDARDの特番があり、何気なく見ていました。

その番組の中で流れていた「stay gold」という曲を聞いた時、自然と泣いてしまった夜を今でも忘れません。英語の歌詞なのですが、画面に和訳のテロップで流れていて、凄く心に響きました。「金ピカのままで輝き続けろ」そんな遊びの効いた和訳だったと思います。そんな時頭に浮かんだ事。「輝いている男！それは信頼される男！！そんな仕事をしよう！！！」それが「HIGH TRUST」～高い信頼～の由来です。「思い通りにいかない」事に苛立つ自分を客観視出来る瞬間が今日ありました。調子に乗っている・エゴがキツくなった・天狗になってる・頑固になっている冷静に考えました。どれも当てはまると思います。3人ではじめた会社は今では新事業も含めて9名になりました。まだまだ小さな会社です。でも背負うものは3倍です。

開業した頃から3倍信頼される男になったのか。まだまだです。でも3倍強くなりました。悲しい事も嬉しい事もいっぱいありました。開業した頃は「仕方ない」これは自分への言い訳にも感じます。「仕方ない」では済まされない立場になりました。「苛立ち」は「立ち向かう」原動力に変えよう！立ち向かって乗り越える。高い壁であればある程、乗り越えた時の嬉しさは増す！！また忘れられない「めちゃめちゃ悔しい」日もありました。悔しすぎて悔しすぎて悔しすぎます。でも今は一人じゃない。結婚して、奥さんに支えられ。会社ではみんなに支えられ。親、兄弟、そしてみんなに支えられてます。大きな事はいえませんが「誰よりも笑顔で、僕の好きな人、携わってくれてる人を笑顔にする」まず移転したこのタイミングだからこそもう一度心機一転スタートします！はそこから！苛立つより笑ってたい！だからみてろよ！！！！最高に笑ってやる！！！！事務所移転したこのタイミングだからこそもう一度心機一転スタートします！ 皆さんよろしくお願い申し上げます。

YMCA NEWS

1. リトリートセンター夜桜フェスタ

春の香り漂う自然を感じつつ、ライトアップされた幻想的な八重桜をお楽しみください。

日 時 4月14日(日) 午後4時～7時
会 場 京都YMCA リトリートセンター(宇治市二尾宇川18)
参加費 大人(中学生以上) 2,000円/名、小学生 1,000円/名、幼児 無料
問合せ 京都YMCA リトリートセンター事務局(三条本館6F)
(TEL) 075-255-4709 / (FAX) 075-255-2087
※無料送迎バスもあり(定員になり次第締切)

2. 京都部 YYY フォーラム

ワイズメン、YMCA スタッフ、ユースボランティアリーダーが、立場や世代を超えて共に考え、アイデアを出し合うことを通じて交流する機会です。

日 時 4月15日(月) 午後7時～9時
会 場 京都YMCA 三条本館 マナホール
内 容 新しいメンバー(リーダー)をどのように増やし、組織を活性化していくか
①基調講演: 安田良平氏「京都ハンナリーズ事例から、人を集める秘訣の全て」
②グループミーティング、発表まとめ

申込み 京都部YMCA サービス・ユース主査 松崎和彦さん E-mail kazuhiko@abox23.so-net.ne.jp

3. 第14回京都YMCA インターナショナル・チャリティーラン2019 in かもがわ 参加・協賛申込受付

YMCAがおこなう障がいのある子どもたちの活動(キャンプなど)のチャリティーイベントです。

日 時 5月19日(日)
会 場 鴨川公園特設コース
申込み (参加) リーフレットの専用振替払込用紙に必要事項をご記入の上、郵便局にてお振込みいただくか、大会HP(<http://kyotoymca.or.jp/c-run>)のメールフォームよりお申込みください。
(協賛) リーフレット同封の協賛申込書にご記入の上、事務局宛にFAXをお送りください
(FAX番号: 075-251-0970)。



HAPPY ANNIVERSARY

4月20日 岸田 靖司&まり子



3月例会出席		
	第1例会	第2例会
メンバー	18名	10名
メネット	1名	0名
コメット	0名	0名
ゲスト	2名	0名
月間出席者	月間出席率	
24/26名	92,30%	

TOF・CS・FF	
TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

ニコニコ	
3月	7,000 円
累計	164,000 円

ファンド	
3月	127,906 円
累計	324,258 円

4月事業予定

- 4日(木曜日) 役員会(京都YMCA三条本館)
- 7日(日曜日) チャリティライブ 2019
(アメリカングラフィティーズ)
- 11日(木曜日) 第1例会「GS例会」
(ホテル日航プリンセス京都)
- 14日(日曜日) Yサ事業「リトセン夜桜フェスタ」
(宇治リトリートセンター)
- 15日(月曜日) Yサ事業 YYY フォーラム
(京都YMCA三条本館)
- 21日(日曜日) 第2例会「EMCBBQ例会“ルーキー企画”」
(VIWAKO GLASTAR)
- 29日(月曜日・祝) CS事業「日向大神宮吾妻屋修復事業」
(日向大神宮)

5月事業予定

- 9日(木曜日) 役員会(京都YMCA三条本館)
- 12日(日曜日) 第1例会「サバエワーク例会」
(サバエキャンプ場)
- 16日(木曜日) 長浜クラブ「今津移動例会」
(今津サンプリッジホテル)
- 21日(木曜日) 第2例会「次期三役アワー」
(ホテル日航プリンセス京都)

IBC、DBC締結クラブ

IBC・・・Kaimuki Y Service Club (Hawaii)
DBC・・・阿蘇ライズメンズクラブ(熊本)

編集後記

奥村 悟

桜も咲き、春の訪れを告げる燕も見かけるようになりました。
ブリテンに協力いただき、おかげで順調に発行出来ています。紙面の
充実を目指し取り組んでいきます。